

沿 革

昭和25年、県において、健民指導委員、社会体育振興委員、女子体育指導委員の制度が設置されることになり、本市においても地域における体育の振興策として、各小学校通学区より1名ずつの29名の健民指導員と、社会体育振興委員6名、女子体育振興委員4名の計39名を選出した。各種の指導者講習会、研修会に参加し、その資質の向上につとめるとともに地域の体育、スポーツ行事に参画し、その内容を充実させてきた。昭和32年文部省の次官通達により全国に体育指導委員制度が設置されることになり、本市も、今までの制度を発展的に解消し、新たに体育指導委員の名称に変更、男子32名、女子7名の計39名が市内各地区より選出され委嘱した。体育指導委員の活動が活発になるに従って、全市的な組織活動と各地区間との連けいを密にするため、昭和32年9月13日横須賀市体育指導委員連絡協議会を結成した。会長、副会長、常任委員等が選出され、組織的な活動ができるようになった。昭和33年には各地区における体育指導委員に対する認識や関心が高まり、地区の体育振興をより充実強化するには各地区1名という少ない指導委員では、地域住民の要望を満足にすることができない状態になってきた。このような時に、県においても指導委員の増員が企画され、本市においても各学区より3名あて計89名に増員し委嘱した。さらに昭和34年には体育指導委員制度に対する重要性を再認識し、市の非常勤職員として任期2年と定め、90名を任命し、年額1,000円の報酬を支給した。この年児童の夏休み中の体力の向上と健全育成を目的とした第1回の学区対抗少年球技大会が計画され、ソフトボール、卓球、バドミントンの3種目大会がもたれ成功をおさめた。

昭和36年には体育指導委員連絡協議会に、組織研究部、体育レクリエーション研究部、女子体育レクリエーション研究部の3研究部会が組織され、それぞれの部門の研修会、研究会をもち資質の向上と事業の充実をはかった。その成果としてママさんバレーボールチームが結成され、第1回の地区球技大会を開催、男子ソフトボール、女子はママさんバレーボール大会が盛大に行われた。昭和36年6月にスポーツ振興法が制定され、その中で体育指導委員の位置づけが明確にされ、より組織的な活動へと進んでいった。同時に地域の体育、スポーツ活動も盛んになり、学区の新設にともなって、昭和40年には32学区200名に増員した。昭和45年には行事内容が検討されるとともに協議会組織も再検討され、第1部会、学校開放部、第2部会、歩行運動部、第3部会、女子体育レクリエーション部会と改め、より効果的な組織とし活動ができるようになった。

昭和46年2月15日、青少年会館に県より馬飼野先生を招き、体育指導委員制度発足10周年記念式典を行い、永年体育指導委員として活躍された方々を表彰し、喜びあうとともに今までの足跡をふりかえり、心を新たに市民の健康づくりのため地域住民の体育、スポーツ振興に努力を続け、さらに昭和48年度には、体育指導委員協議会と名称を改め、あわせて議長を会長と改めるなど、さらには、第1部会を（学校開放）第2部会を（学区体育振興）第3部会を（レクリエーション）とし前進していった。その後人口も年々増加し学区も年ごとに増え昭和51年には42学区にふくれあがり、体育指導委員も275名となり、活動内容も市の社会体育事業に対する協力、

県内外の各種研修会、講習会への参加と伝達普及、地域の社会体育振興のための地域指導や助言、地域住民の要請による実技指導、地域クラブ育成等の体育、スポーツの振興の推進役として欠かせない存在となった。

昭和53年には「健康都市宣言」がされ、不入斗運動公園に総合体育会館が建設され、室内の大会等も多くなって来た。

学区数も48学区となり体育指導委員の人数も309名に現在ではなっている。

体育の日（10月10日）

昭和41年6月25日付け法律第86号をもって、国民の祝日に関する法律の一部が改正され、国民の祝日として新たに「体育の日」が設けられた。

なお同法附則により、スポーツ振興法で定められていた「スポーツの日」は「体育の日」と改められた。同年9月28日付41体第327号をもって県教育長より通知があり、その内容は、総理府総務副長官、古屋 亨、文部事務次官、福田 繁名をもって「体育の日」の通達であり、1番目は体育の日制定の趣旨についてであった。

- (1) 国民の祝日に関する法律によれば、体育の日を10月10日と定め「スポーツに親しみ、健康な心身をつちかう」ことをもってその趣旨としている。

体育の日においては、この趣旨を生かすように心がけるとともに、さらにこれを契機として国民がいっそう健康や体力の保持増進に努め、ひいては明るく住みよい社会を建設することをねがってこの日が制定されたのである。

- (2) 10月10日を体育の日としたのは、昭和39年に開催されたオリンピック東京大会の輝かしい成果とその感激を記念し、これによって体育の重要性について認識を深める意味でその開会式の日を選んだのである。
- (3) 従来、スポーツ振興法により定められていたスポーツの日は、その趣旨がそのまま体育の日に生かされることになった。

したがって、体育の日はスポーツ振興法の立場からもきわめて重視すべきものであるので、同法第5条においてスポーツ振興の観点から、国、地方公共団体の役割として「国及び地方公共団体は、国民の祝日に関する法律第2条に規定する体育の日において、国民の間に広くスポーツについての理解と関心を深め、かつ積極的にスポーツをする意欲を高揚するような行事を実施するとともに、この日において、広く国民があらゆる地域及び職場でそれぞれの生活の実情に即してスポーツができるような行事が実施されるよう必要な措置を講じ及び援助を行うものとする」と定めている。

◎2番目は、体育の日の生かし方について

- (1) 健康や体力は人間生活の基本であり、明るく住みよい社会の建設の原動力である。したがって、国民のひとりひとりが、自分の健康や体力に関心をもち、その現状をよくとらえ、それにふさわしい各種の運動に進んでしたしむようにすることが望ましい。
- (2) 家庭は家族全員の健康や体力について、積極的にその保持増進をはかる大切な役割をもっている。そこで体育の日においては、家族がそろって野外にでかけたり、スポーツに親しむなどの諸活動が活発に行なわれることが望ましい。
- (3) 体育、スポーツ団体、青少年団体、婦人団体はもちろん各種事業所等の職場においては、体育の日を中心に秋の好季節を利用して各種の運動を活発に行うよう積極的に企画運営して、所属団体員の参加を広く呼びかけるようにすることが望ましい。また関係諸団体の要請にこたえ、体育、スポーツについてすぐれた技術を身につけた者が、これを生かして諸活動への一般参加者に対し、すすんで指導に当るなどによって体育、スポーツの普及振興がはかられ

ることが望ましい。

なお保健、栄養関係団体においては健康相談、栄養指導等についての積極的な活動をするように、所属会員にひろく呼びかけるようにすることが望ましい。

- (4) 地方公共団体は、スポーツの振興のための諸行事を行い、又、それらに関する民間の諸行事活動について援助を行うことはもちろんのことであるが、体育の日は健康と体力の保持増進という広い意義をもっていることにかんがみ、健康診断や体力及び運動能力のテストなどが実施されるようくふうすることが望ましい。

◎3 番目は諸行事の実施について

- (1) 体育の日において行事を企画実施する場合は、次の行事の参考例を参考としそれぞれの地域や職場の実情に即して、できるだけだれもがいずれかの行事に参加できるよう配慮されたい。

たとえば各種の運動競技のほか、ハイキング、サイクリング等の野外活動なども数多くとりあげて小人数や小範囲の地域で手軽にできるものが実施されることが望ましい。

行事の参考例

- (ア) 体育大会、運動会、各種スポーツの競技会、徒手体操の会、民謡のつどい、フォークダンスの会、登山、サイクリング、ハイキング、キャンピングなどの会、歩け歩けの会、つりの会、スポーツ教室等
- (イ) 健康相談、スポーツテスト、体力テストの会等
- (ウ) 体育、スポーツに関する講演会、映画会、スポーツ美術展覧会、体育、スポーツに関する標語、絵画、ポスターの募集等
- (エ) 体育、スポーツに関する功労者、優秀選手の表彰等
- (2) 市（区）町村や学校、公民館をはじめ、体育協会等の体育、スポーツ団体、青少年団体、婦人団体、保健栄養関係団体、会社、事業所等は相互に連絡を密にしてこの日の行事が円滑に実施されるようにしたい。
- (3) 従来この時期に実施されていた体育行事たとえば秋の運動会などは、体育の日の行事として取り扱いその趣旨にふさわしいものとするのが望ましい。
- (4) 体育の日を中心に体育週間又は体育旬間を設けるなど、この日の趣旨をさらに生かすようくふうすることが望ましい。
- (5) 諸行事や諸活動の実施に当っては、安全に留意し秩序を守り、公共の施設や樹木などの自然を大切にするとともに、実施後の清掃美化に努めるよう適切な指導をされたい。

◎4 番目として諸施設の開放について

この日には学校その他公共の体育施設等がひろく一般の利用に供されるようにし、なるべく無料で開放されることが望ましい。又、会社、事業所等のスポーツ施設や営業用のスポーツ施設も同様の趣旨で利用の便宜が図られることが望ましい。

上記の趣旨を理解し、本市においては、昭和41年10月10日（月）体育の日に、初めて「体力づくり皆んなで歩こう会」が開催された。

主 催 横須賀市教育委員会
主 管 横須賀市体育指導委員連絡協議会
日 時 昭和41年10月10日（月）体育の日
コ ー ス 市体育会館——尻摺坂——病院前——野比海岸——千駄ヶ崎——久里浜港
大浜——市体育会館
距 離 約 6.3 km
時 間 約 1 時間30分
役 員 会 長 三好 義次
副会長 山岡 嘉智 松井 博
実行委員長 浜倉光四郎
実行副委員長 関島 清 芝野 米次 山川 初江 森田利志夫
総務委員長 原田 嘉夫
総 務 石橋 三郎 三觜 常雄 金子 功 高橋 忠和 森田 常夫
長島信次郎

他、受付係員、行進指導員、記録係員、救護係等の役員構成であった。

当時本市教委と市体育指導委員連絡協議会が中心となりコースの設定、PR、目的等を、慎重かつ詳細に打合せ会を行ない「歩こう会」を行った。

昭和42年は会場を（馬堀中から→観音崎→鴨居小）

昭和43年は会場を（市役所を出発し→逸見→塚山公園→長浦小学校）

昭和44年は会場を（馬堀小から→観音崎→鴨居小）

昭和44年度10月10日、初めて市より参加者に参加賞がおくられるようになった。以後同じコースで（馬堀小→観音崎→鴨居小）行い、昭和49年度、市民は健康管理に少しずつ関心を持ち、特にこの年においては1,000人をこす参加者で70才以上の方が30名も参加した。

昭和50年度には、初めてのコースである北下浦中学校を出発—砲台山—武山—三浦富士を使い昼食持参で、1日（体育の日）を歩こう会で過ごす家族ぐるみの参加者が多くなった。

昭和51年度は雨天の為中止となったが、昭和52年度も同コースで行われた。

昭和49年から昭和52年の間には70才以上の方が78名参加している。

昭和53年から57年のコースは、馬堀から観音崎のコースを使用し、参加者も1,200名くらいに多くなって来たが、参加者のほとんどが60才以上の方で、家族ぐるみの参加がなくなってきた。

市教育委員会と市体育指導委員協議会で現状をふまえ検討した結果、内容を変更し、市民が気楽に参加でき、楽しむ体育の日のスポーツのつどいの目的を持ち、市の体育施設を開放し、昭和58年度から、市総合体育会館、久里浜体育会館、不入斗運動公園陸上競技場を開放し、バウンドテニス、卓球、バドミントン、体カテスト、記録を図る会を現在では行っている。

横須賀市体育指導委員協議会

30年のあゆみ

年 度	出 来 事
昭和32年 8月 9月	市体育指導委員 男子32名、女子7名の計39名を委嘱する。 横須賀市体育指導委員連絡協議会結成。
33年 6月 9月 10月 10月 12月	神奈川県体育指導委員協議会（鎌倉） NHK美容体操公開録音（田戸小） 大津地区に本市、はじめての体育振興会が設立される。 健康まつり 市民体育大会参加（Rの会、野球、ハイキング、バスケットボール） 本市の体育指導委員も位置や関心が高まり、各学区より3名推薦で計82名となる。
34年 5月 1月 1月 3月	本市体育指導委員が市の非常勤職員となり、90名が任命される。 市内25区に体育振興会が出来る。 国民体育デー（民踊、FDの会）（大津） 第1回学区対抗少年球技大会（ソフトボール、バトミントン、卓球） 第13回全国レクリエーション大会（神奈川県） 第10回県レクリエーション大会 健民祭
35年 4月 12月 3月	民踊祭 本市体育振興会が全地区31地区に出来る。 体育指導委員レクリエーションの会（ハイキング、ソフトボール、バレーボール、軽スポーツ） 第14回全国レクリエーション大会（札幌） 第11回県レクリエーション大会（厚木）
36年 8月 9月	横須賀市体育指導委員協議会三部会制発足（第1部会 組織運営研究部、第2部会 体育レクリエーション研究部、第3部会 女子体育レクリエーション研究部） 健康まつり。 第2回地区対抗児童ソフトボール大会（久里浜） 第1回地区対抗球技大会（ソフトボール、バレーボール）（久里浜） 第15回全国レクリエーション大会（新潟県）
37年 6月	体操祭

年 度	出 来 事
昭和37年7月 8月 8月 9月	横須賀市FD協会設立発会式（豊島小） 第16回全国レクリエーション大会（米子） 第3回地区対抗児童ソフトボール大会（久里浜） 第2回地区対抗球技大会〔ソフトボール、バレーボール、卓球〕（久里浜）
38年8月 9月 11月 3月	第4回学区対抗児童ソフトボール大会（久里浜） 第3回地区対抗球技大会（久里浜） 市民大会レクリエーションの会（大津） 第4回全国体育指導委員研究大会（静岡県沼津） 横須賀市体育指導委員スポーツ講習会を市体育会館で行なう〔ラジオ体操、三つの体操〕
39年8月 9月	第5回学区対抗児童ソフトボール大会（久里浜） 第4回地区対抗球技大会〔ソフトボール、バレーボール、卓球〕（久里浜） 第5回全国体育指導委員研究大会（大分県別府）
40年8月 8月 9月 10月	第6回全国体育指導委員研究大会（埼玉県川越） 第6回学区対抗児童ソフトボール大会（久里浜） 第5回地区対抗球技大会〔ソフトボール、バレーボール、卓球〕（久里浜） 一万歩運動（久里浜・野比周辺） 横須賀市5部会場実技研修会 体力テスト国民会議神奈川県スポーツテスト推進大会
41年7月 8月 9月 9月 10月 12月	体力づくり国民会議歩行運動神奈川県大会〔徒歩ラリー〕（逗子） 第7回学区対抗児童ソフトボール大会（久里浜） 第6回地区対抗球技大会〔ソフトボール、バレーボール、卓球〕（久里浜） 楽しい親子体操復及講習会（藤沢） 体育の日制定 歩こう会（久里浜・野比周辺） 県体育指導委員大会、歩行運動県推進大会を市体育会館において開催。
42年8月 9月 10月 10月 3月	第8回学区対抗児童ソフトボール大会（久里浜） 第7回地区対抗球技大会〔ソフトボール、バレーボール、卓球〕（久里浜） 神奈川県ママさんバレーボール大会（平塚市） 体力づくり みんなで歩こう会（横須賀） 神奈川県歩行クラブ結成記念大会
43年5月 8月	日本体操祭神奈川県横須賀大会〔ママさんバレーボール〕（不入斗中） 第9回学区対抗児童ソフトボール大会（久里浜）

年 度	出 来 事
昭和43年 9月	第8回学区対抗球技大会〔バレーボール、ソフトボール〕(久里浜) 第9回全国体育指導委員研究大会(岩手県)
44年 5月 6月 8月	神奈川県健康まつり横須賀大会〔ママさんバレーボール、体操、民謡〕 (不入斗中) 第5回関東体育指導委員研究大会(日立市) 第10回学区対抗児童ソフトボール大会(久里浜) 第10回全国体育指導委員研究協議会(和歌山県) 第9回学区対抗球技大会〔バレーボール、ソフトボール〕
45年 5月 6月 6月 8月 8月 9月 10月 11月 2月 2月	健康まつり横須賀大会〔バレーボール〕 神奈川県主催親子体力づくり(諏訪小) 第6回関東体育指導委員研究大会(水上) 第11回学区対抗児童ソフトボール大会(久里浜) 第11回全国体育指導委員研究大会(鹿児島県) 第10回学区対抗球技大会〔バレーボール、ソフトボール〕(久里浜地区) 歩行運動〔体育の日〕(防大周辺) 第8回ママさんバレーボール大会 部会制名称変更〔第1部会 学校開放部、第2部会 歩行運動部、第3部会 女子体育レクリエーション部〕 10周年記念事業(青少年会館)
46年 5月 8月 9月 10月 11月	健康まつり〔ママさんバレーボール、フォークダンス〕(不入斗中) 第12回学区対抗児童ソフトボール大会(明浜小) 第11回学区対抗球技大会〔バレーボール、ソフトボール〕(不入斗) 体育の日歩こう会(観音崎周辺) 第9回ママさんバレーボール大会(不入斗バレーコート) 県体育指導委員大会(鎌倉市体育館) 関東体育指導委員大会(山梨県) 全国体育指導委員大会(千葉市)
47年 5月 8月 9月 10月 11月	健康まつり〔ママさんバレーボール、フォークダンス〕(不入斗バレーコート) 第13回学区対抗児童ソフトボール大会(不入斗中) 第12回学区対抗球技大会〔バレーボール、ソフトボール〕(不入斗) 体育の日歩こう会(観音崎周辺) 第10回ママさんバレーボール大会(不入斗バレーコート) 県体育指導委員大会(藤沢市)

年 度	出 来 事
昭和47年11月	関東体育指導委員大会（那須市） 全国体育指導委員大会（日立市）
48年 5月 8月 9月 10月 11月 12月	健康まつり〔ママさんバレーボール、レクリエーション〕（不入斗バレーコート） 第14回学区対抗児童ソフトボール大会（不入斗中） 第13回学区対抗球技大会〔バレーボール、ソフトボール〕（不入斗） 体育の日歩こう会（観音崎周辺） 第11回ママさんバレーボール大会（不入斗バレーコート） 県体育指導委員大会（茅ヶ崎市） 関東体育指導委員会大会（川口市） 全国体育指導委員大会（伊勢市） 横須賀市体育指導委員連絡協議会を横須賀市体育指導委員協議会と改め、議長・副議長を会長・副会長と改める。 体育指導委員規則制定
49年 5月 8月 8月 9月 10月 11月	健康まつり〔ママさんバレーボール、レクリエーション〕（不入斗バレーコート） 第15回学区対抗児童ソフトボール大会（不入斗球場） 第1回学区対抗児童ポートボール大会（不入斗中他） 第14回学区対抗球技大会〔バレーボール、ソフトボール〕（不入斗球場他） 体育の日歩こう会（観音崎周辺） 第12回ママさんバレーボール大会（不入斗バレーコート） 県体育指導委員大会（厚木市） 関東体育指導委員大会（千葉県）
50年 5月 8月 8月 8月 10月 11月	健康まつり〔ハイキング、ママさんバレーボール〕（衣笠山、不入斗バレーコート） 第16回学区対抗児童ソフトボール大会（不入斗球場他） 第2回学区対抗児童ポートボール大会（不入斗中他） 第15回学区対抗球技大会〔ソフトボール、バレーボール〕（不入斗球場他） 体育の日歩こう会（三浦富士～武山） 第13回ママさんバレーボール大会（不入斗バレーコート） 関東体育指導委員大会（長野県） 県体育指導委員大会（川崎）
51年 5月	健康まつり〔ハイキング、ママさんバレーボール〕（衣笠山、不入斗バレーコート）

年 度	出 来 事
昭和51年 8月 8月 9月 10月 11月 11月	第17回学区対抗児童ソフトボール大会（不入斗球場他） 第3回学区対抗児童ポートボール大会（不入斗中他） 第16回学区対抗球技大会〔ソフトボール、バレーボール〕（不入斗球場他） 体育の日歩こう会（雨天のため中止） 第14回ママさんバレーボール大会（不入斗バレーコート）〔雨天のため中止〕 県体育指導委員大会（大和市） 関東体育指導委員大会（県体育センター） 全国体育指導委員大会（長野県）
52年 5月 6月 8月 8月 9月 9月 10月	第1回健康まつり〔ハイキング、フォークダンス、ママさんバレーボール〕（衣笠山、不入斗バレーコート） 老人歩こう会（観音崎） 第18回学区対抗児童ソフトボール大会（不入斗球場） 第4回学区対抗児童ポートボール大会（不入斗中） 第17回学区対抗球技大会〔ソフトボール、バレーボール〕（不入斗） 第15回ママさんバレーボール大会（不入斗バレーコート） 体育の日歩こう会（三浦富士～武山） 県体育指導委員大会（県体育センター） 関東体育指導委員大会（東京青山会館）
53年 5月 6月 8月 8月 9月 10月 10月 10月 11月 3月	第2回健康まつり〔歩こう会、ママさんバレーボール〕（観音崎周辺、不入斗バレーコート） 老人歩こう会（観音崎） 第19回学区対抗児童ソフトボール大会（不入斗球場） 第5回学区対抗児童ポートボール大会 第18回学区対抗球技大会〔ソフトボール、バレーボール〕（不入斗） 体育の日歩こう会〔雨天のため15日に順延〕（観音崎周辺） 第1回老人健康のつどい（市工） 第16回ママさんバレーボール大会〔11月25、26、12月3日の3日間〕（市総合体育会館） 県体育指導委員大会（横浜市） 関東体育指導委員大会（栃木県） 横須賀市体育指導委員制度設置20周年記念事業（市総合体育会館）
54年 5月 6月 8月 8月	第3回健康まつり〔ママさんバレーボール、歩こう会〕（不入斗バレーコート、衣笠山） 第2回老人健康のつどい（市総合体育会館） 第20回学区対抗児童ソフトボール大会（不入斗球場他） 第6回学区対抗児童ポートボール大会（市総合体育会館他）

年 度	出 来 事
昭和54年 9月 10月 11月	第19回学区対抗球技大会〔ソフトボール、バレーボール〕(不入斗球場他) 体育の日歩こう会〔馬堀～観音崎〕 第17回ママさんバレーボール大会(市総合体育会館他) 県体育指導委員大会(藤沢) 関東体育指導委員大会(甲府)
55年 5月 6月 6月 8月 8月 9月 10月 10月 10月 11月	第4回健康まつり〔ママさんバレーボール、歩こう会〕(不入斗バレーコート、塚山公園) 第3回老人健康のつどい(市総合体育会館) 関東体育指導委員大会(千葉) 第21回学区対抗児童ソフトボール大会(不入斗球場他) 第7回学区対抗児童ポートボール大会(市総合体育会館他) 第20回学区対抗球技大会〔ソフトボール、バレーボール〕(不入斗球場他) 体育の日歩こう会〔馬堀～観音崎〕 全国体育指導委員研究大会(島根県) 県体育指導委員大会(藤沢) 第18回ママさんバレーボール大会(市総合体育会館他)
56年 5月 6月 6月 8月 8月 9月 10月 11月 11月 1月	第5回健康まつり〔歩こう会、ママさんバレーボール〕(大楠山、不入斗バレーコート) 第4回老人健康のつどい〔屋内運動会〕(市総合体育会館) 関東体育指導委員研究大会(栃木県) 第22回学区対抗児童ソフトボール大会(不入斗球場周辺) 第8回学区対抗児童ポートボール大会(市総合体育会館周辺) 第21回学区対抗球技大会〔ソフトボール、バレーボール〕(市総合体育会館周辺) 体育の日歩こう会〔馬堀～観音崎〕(馬堀中) 第19回ママさんバレーボール大会(市総合体育会館周辺) 全国体育指導委員研究大会(群馬県) 第36回三浦半島県下駅伝競走大会
57年 5月 6月 8月 8月 9月 10月	第6回健康まつり〔ファミリーバレーボール、ゲートボール、歩こう会〕(不入斗バレーコート周辺、衣笠山) 第5回老人健康のつどい〔屋内運動会〕(市総合体育会館) 第23回学区対抗児童ソフトボール大会(不入斗球場周辺) 第9回学区対抗児童ポートボール大会(市総合体育会館周辺) 第22回学区対抗球技大会〔ソフトボール、バレーボール〕(不入斗バレーコート、不入斗球場周辺) 体育の日歩こう会(観音崎)

年 度	出 来 事
昭和57年 11月 11月 1月 3月	第20回 ママさんバレーボール大会（市総合体育会館周辺） 全国体育指導委員研究大会（奈良県） 第37回三浦半島県下駅伝競走大会 市久里浜体育会館落成記念事業（ママさんバレーボール）
58年 5月 6月 6月 8月 8月 9月 10月 10月 11月 11月 11月 1月 3月	第7回健康まつり〔ファミリーバレーボール、ゲートボール、歩こう会〕 （不入斗周辺、田浦アスレチック） 第6回老人健康のつどい〔屋内運動会〕（市総合体育会館） 関東体育指導委員研究大会（茨城県） 第24回学区対抗児童ソフトボール大会（不入斗球場周辺） 第10回学区対抗児童ポートボール大会（市総合体育会館、市久里浜体育会館） 第23回学区対抗球技大会〔ソフトボール、バレーボール〕（不入斗バレーコート、不入斗球場周辺） 体育の日スポーツのつどい（市総合体育会館、市久里浜体育会館、不入斗陸上競技場） 第7回老人歩こう会〔馬堀～観音崎〕（馬堀中） 第21回ママさんバレーボール大会（市総合体育会館、市久里浜体育会館） 全国体育指導委員研究大会（鳥取県） 県体育指導委員研究大会（相模原市） 第38回三浦半島県下駅伝競走大会 横浜横須賀道路開通記念マラソン大会〔5キロ、10キロ、15キロ〕（横濱道路・衣笠～沼間インター）
59年 5月 6月 7月 8月 8月 9月 10月 10月 11月 11月	第1回ファミリースポーツのつどい〔バレーボール、ゲートボール、卓球、壮年体力テスト〕（不入斗） 第7回老人健康のつどい〔屋内運動会〕（市総合体育会館） 関東体育指導委員研究大会（長野県） 第25回学区対抗児童ソフトボール大会（不入斗球場、追浜球場） 第11回学区対抗児童ポートボール大会（市総合体育会館、市久里浜体育会館） 第24回学区対抗球技大会〔ソフトボール、バレーボール〕（不入斗バレーコート、不入斗球場周辺） 体育の日スポーツのつどい（市総合体育会館、市久里浜体育会館、不入斗陸上競技場） 第8回老人歩こう会〔馬堀～観音崎〕（馬堀中） 全国体育指導委員研究大会（甲府市） 第22回ママさんバレーボール大会〔終了〕（市総合体育会館、市久里浜体育会館）

年 度	出 来 事
昭和59年 1月 2月	第39回三浦半島県下駅伝競走大会 県体育指導委員研究大会（川崎市）
60年 5月 6月 7月 8月 8月 9月 10月 10月 11月 1月 2月 2月 3月 3月	第2回ファミリースポーツのつどい〔バレーボール、ゲートボール、卓球、 壮年体力テスト（不入斗）〕 第8回老人健康のつどい〔屋内運動会〕（市総合体育会館） 関東体育指導委員研究大会（浦和市） 第26回学区對抗児童ソフトボール大会（追浜球場、追浜中） 第12回学区對抗児童ポートボール大会（市総合体育会館、市久里浜体育 会館） 第25回学区對抗球技大会〔ソフトボール、バレーボール〕（市総合体育会 館他、不入斗球場他） 体育の日スポーツのつどい（市総合体育会館、市久里浜体育会館、不入斗 陸上競技場） 第9回老人歩こう会〔馬堀～観音崎〕（馬堀中） 全国体育指導委員研究大会（沖縄県） 第40回三浦半島県下駅伝競走大会 県体育指導委員研究大会（平塚市） 市西部体育会館落成記念事業〔ママさんバレーボール、スポーツフェスティ バル〕 市西部体育会館落成記念事業〔パパさんバレーボール〕 市体育指導委員理論講習会〔生涯スポーツの推進と体育指導委員の役割り〕 （市総合体育会館）
61年 5月 6月 6月 8月 8月 9月 10月 10月 11月 1月	第3回ファミリースポーツのつどい〔バレーボール、ゲートボール、卓球、 壮年体力テスト〕 第9回老人健康のつどい〔屋内運動会〕（市総合体育会館） 関東体育指導委員研究大会（県民ホール） 第27回学区對抗児童ソフトボール大会（追浜球場、追浜中） 第13回学区對抗児童ポートボール大会（市総合体育会館、市久里浜体育 会館） 第26回学区對抗球技大会〔ソフトボール、バレーボール〕（市総合体育会 館他、不入斗球場他） 体育の日スポーツのつどい（市総合体育会館、市久里浜体育会館、市西部 体育会館、不入斗陸上競技場） 第10回老人歩こう会〔馬堀～観音崎〕（馬堀中） 全国体育指導委員研究大会（京都府） 第41回三浦半島県下駅伝競走大会

年 度	出 来 事
昭和61年 2月	県体育指導委員研究大会（藤沢市）
62年 5月	第4回ファミリスportsのつどい〔バレーボール、ゲートボール、卓球、壮年体力テスト〕
6月	第10回老人健康のつどい〔屋内運動会〕（市総合体育会館）
7月	関東体育指導委員研究大会（高崎市）
7月	市制施行80周年記念綱引き大会（市総合体育会館）
8月	第28回学区対抗児童ソフトボール大会（追浜球場他）
8月	第14回学区対抗児童ポートボール大会（市総合体育会館、市久里浜体育会館）
9月	第27回学区対抗球技大会〔ソフトボール、バレーボール〕（市総合体育会館他、不入斗球場他）
9月	全国体育指導委員研究大会（北海道）
9月	山川初江氏 文部大臣功労賞受賞
10月	体育の日スポーツのつどい（市総合体育会館、市久里浜体育会館、市西部体育会館、不入斗陸上競技場）
10月	第11回老人歩こう会〔馬堀～観音崎〕（馬堀中）
12月	市体育指導委員30周年記念事業（市文化会館）

学区対抗球技大会

昭和34年、第1回学区対抗児童球技大会が行われ大成功を収めたので、児童のみならず、地域の成人を対象に、体育・スポーツの普及・振興をねらいとして、昭和36年秋に市教育委員会と市体育指導委員連絡協議会が力を合わせ、更に、横須賀ソフトボール協会の協力を得て、第1回大会を行った。種目は男子がソフトボールと卓球、女子がバレーボールと卓球の3種目であった。

第2回大会（昭和37年）には、ソフトボールが13学区、バレーボール7学区、卓球は男子が9学区、女子6学区で実施された。昭和50年過ぎには、学区体育振興会で地区予選会を実施しなければ学区代表が決まらないほどに各地区のチーム数が増えてきた。予選会を勝抜いたチームだけに、本大会では白熱した試合が展開され、家族あげての応援が見られるほど盛大になってきた。

第1回大会からの優勝学区及び参加学区数は次のとおりである。

年度	種目	参加者	優勝学区
36	ソフトボール バレーボール 卓球		
37	ソフトボール バレーボール 卓球	13 7 男9、女6	
38	ソフトボール バレーボール 卓球	19 8 男10、女5	久里浜、明浜（ブロック戦） 久里浜（トーナメント戦） 男子 坂本 女子 坂本
39	ソフトボール バレーボール 卓球	22 11 男10、女4	逸見、田戸、久里浜 明浜 男子 坂本 女子 坂本
40	ソフトボール バレーボール 卓球	20 9 男9、女6	馬堀、明浜、田戸 鴨居 男子 高坂 女子 明浜
41	ソフトボール バレーボール 卓球	22 13 男14、女8	（雨天の為中止） 明浜 男子 豊島 女子 豊島
42	ソフトボール バレーボール 卓球	21 16 男19、女8	田戸、明浜、久里浜 夏島 男子 豊島 女子 豊島
43	ソフトボール バレーボール	22 21	明浜、田戸、公郷 夏島

44	ソフトボール	24	鴨居、田戸、坂本、長井
	バレーボール	22	鶴久保、公郷、大津（ブロック戦になる）
45	ソフトボール	28	夏島、久里浜、走水、坂本、逸見
	バレーボール	21	夏島、船越、田戸、逸見
46	ソフトボール	29	田戸、城北、夏島、走水、久里浜
	バレーボール	20	鴨居、汐入、坂本、逸見
47	ソフトボール	27	坂本、沢山、久里浜、鴨居、田浦
	バレーボール	19	鴨居、田戸、公郷
48	ソフトボール	31	馬堀、平作、沢山、久里浜、坂本
	バレーボール	26	沢山、夏島、池上、鴨居
49	ソフトボール	31	長浦、大楠、坂本、久里浜、追浜
	バレーボール	26	夏島、大津、北下浦、鴨居
50	ソフトボール	35	城北、田戸、長浦、久里浜、坂本
	バレーボール	30	田戸、夏島、富士見、大津
51	ソフトボール	36	富士見、平作、坂本、馬堀、粟田
	バレーボール	35	鶴久保、田浦、鴨居、大津、粟田
52	ソフトボール	40	田戸、大津、田浦、浦郷、久里浜
	バレーボール	35	森崎、久里浜、小原台、浦郷、粟田
53	ソフトボール	42	船越、公郷、衣笠、高坂、鷹取、大楠
	バレーボール	37	田浦、小原台、逸見、夏島、浦郷
54	ソフトボール	44	高坂、逸見、船越、森崎、馬堀、平作
	バレーボール	38	浦郷、大津、馬堀、陽光、久里浜、鷹取
55	ソフトボール	46	夏島、浦賀、走水、岩戸、大津、久里浜
	バレーボール	35	久里浜、夏島、岩戸、沢山、大津
56	ソフトボール	46	鷹取、豊島、久里浜、城北、粟田、田戸
	バレーボール	37	逸見、池上、大津、船越、津久井
57	ソフトボール	48	粟田、公郷、久里浜、岩戸、浦賀、大楠
	バレーボール	31	浦郷、船越、公郷、小原台、岩戸
58	ソフトボール	48	津久井、粟田、久里浜、根岸、鷹取、大津
	バレーボール	28	大矢部、高坂、馬堀、池上
59	ソフトボール	46	池上、馬堀、大津、粟田、鴨居、追浜
	バレーボール	28	田浦、高坂、津久井、城北
60	ソフトボール	46	坂本、根岸、粟田、野比、高坂、追浜
	バレーボール	32	大津、田浦、明浜、馬堀、富士見、久里浜、小原台、北下浦

61	ソフトボール	47	馬堀、久里浜、根岸、陽光、岩戸、追浜
	バレーボール	36	鷹取、明浜、大矢部、田浦、大津、池上
62	ソフトボール	47	馬堀、大津、田戸、富士見、鷹取、久里浜
	バレーボール	33	久里浜、高坂、浦郷、坂本、大津、神明

健 康 ま つ り

昭和43年5月24日付けをもって、神奈川県教育長からの通達、日本体操祭神奈川県健康まつり開催地決定の通知があった。これは、当時、本市体育指導委員連絡協議会が、神奈川県に要望書を提出し、県補助金によって、横須賀市民に対し、健康づくり、体力づくりを行おうと企画し、同年5月19日、市立不入斗中学校、桜台中学校、青葉小学校において第1回目を開催した。

内容としては、体操、フォークダンス、ママさんバレーボールの3種目を行った。第1回目は日本体操祭神奈川県横須賀大会と称し主催が、文部省、全国体育指導委員協議会、日本体操協会、日本放送協会、朝日新聞社で、主管が横須賀市体育指導委員連絡協議会、後援が神奈川県教育委員会、横須賀市教育委員会で、ママさんバレーボールの部は21チームが参加し、3ブロックトーナメントで行われ、明浜チーム、逸見同好会、夏島（柏チーム）が優勝している。

第2回は44年に神奈川県健康まつり横須賀大会と称し、以後この名称で昭和51年度まで行われ、昭和52年度より市主催となり、名称を第1回健康まつりと称した。

昭和43年から58年まで行われた内容は、下記の通りである。

年度	種 目	会 場	内 容
43	フォークダンス 体 操 ママさんバレーボール	不入斗中学校 桜台中学校 青葉小学校	バレーボール21チーム、ブロックトーナメント (優勝チーム) 明浜チーム、逸見同好会、夏島柏チーム
44	民 謡 音楽鑑賞 ママさんバレーボール	不入斗中学校	バレーボール17チーム、ブロックトーナメント (優勝チーム) 公郷チーム、明浜チーム、汐見台チーム
45	フォークダンス 音楽鑑賞 ママさんバレーボール	市体育会館 明浜小学校	バレーボール22チーム、ブロックトーナメント (優勝チーム) Y S チーム、逸見同好会、二葉チーム
46	体 操 フォークダンス ママさんバレーボール	不入斗中学校	バレーボール23チーム、ブロックリーグ戦 (優勝チーム) 夏島チーム、Y S チーム、二葉チーム、大津チーム、逸見同好会
47	フォークダンス レクリエーション ママさんバレーボール	不入斗公園バレーコート	ママさんバレー28チーム、ブロックリーグ戦 (優勝チーム) 逸見同好会、沢山同好会、Y S チーム、二葉 A チーム、城北チーム、大津チーム、鶴久保チーム
48	レクリエーション ママさんバレーボール	同 上	ママさんバレー25チーム、ブロックリーグ戦 (優勝チーム) 田戸チーム、池上チーム、逸見同好会、二葉チーム、坂本チーム、南郷チーム

49	ママさんバレーボール	不入斗公園 バレーコート	36チーム、ブロックトーナメント (優勝チーム) 森崎クラブ、武山Aチーム、 武山Bチーム、二葉チーム、鶴久保チーム、 公郷チーム、田戸チーム
50	ハイキング ママさんバレーボール	衣笠山 不入斗公園 バレーコート	150名の参加を得て昼食持参 36チーム、ブロックトーナメント (優勝チーム) 阿部倉チーム、二葉チーム、逸 見同好会、サンクラブ、城北チーム、坂本チーム
51	ハイキング ママさんバレーボール	衣笠山 不入斗公園 バレーコート	70名の参加を得て昼食持参 40チーム、ブロックトーナメント (優勝チーム) 森崎クラブ、サンクラブ、逸 見同好会、二葉チーム、武山チーム、鶴久保 チーム、津久井チーム、田浦しろんだチーム
52	ハイキング フォークダンス ママさんバレーボール	衣笠山 不入斗公園 陸上競技場 不入斗公園 バレーコート	170名の参加を得て昼食持参 52チーム、ブロックトーナメント (優勝チーム) 浦郷Aチーム、さつきチーム、 逸見同好会、武山Aチーム、公郷チーム、二 葉Aチーム、津久井チーム、夏島チーム
53	ハイキング フォークダンス ママさんバレーボール	衣笠山 不入斗公園 不入斗公園 バレーコート	135名の参加を得て昼食持参 58チーム、ブロックトーナメント (優勝チーム) 逸見同好会、久里浜町内会、 夏島チーム、久比里チーム、森崎クラブ、岩 戸チーム、陽光チーム、池上チーム
54	ハイキング ママさんバレーボール	武山 不入斗公園 バレーコート	115名の参加を得て昼食持参 49チーム、ブロックトーナメント (優勝チーム) 森崎クラブ、KVC A、パン ジー、長井チーム、高坂チーム、坂本連合チ ーム、逸見同好会
55	ハイキング ママさんバレーボール	塚山公園 不入斗公園 バレーコート	85名の参加を得て昼食持参 27チーム、ブロックトーナメント (優勝チーム) 久比里チーム、浦郷チーム、 城北チーム、池上チーム、逸見同好会、馬堀 チーム、野比チーム
56	ハイキング ママさんバレーボール	大楠山 不入斗公園 バレーコート	125名の参加を得て昼食持参 27チーム、ブロックトーナメント (優勝チーム) KVC、城北チーム、浦賀チ ーム、公郷チーム、池上チーム

57	ハイキング ゲートボール ママさんバレーボール	衣笠山 不入斗中学校 不入斗公園 バレーコート	86名の参加を得て昼食持参 12チーム（交歓会として行った） 26チーム （優勝チーム）夏島チーム、やまざきチーム、 叶クラブ、はまゆうBチーム
58	ハイキング ゲートボール ママさんバレーボール	塚山公園 不入斗中学校 不入斗公園 バレーコート	116名の参加を得て昼食持参 11チーム（交歓会として行った） 25チーム （優勝チーム）安浦1丁目チーム、川間母親 チーム、二葉チーム、やまざきチーム、野比 チーム、田中チーム

綱 引 き 大 会

昭和62年市制施行80周年を記念し、7月26日(日)横須賀市総合体育館で、綱引き大会を開催した。各学区から1チーム(監督1名、マネージャー1名、選手48名以内)の構成で25学区が、ブロックリーグ戦として行われた。選手が1250名、応援及び大会関係者を含むと約2000名が参加した行事である。

主催が横須賀市教育委員会、主管が横須賀市体育指導委員協議会、神奈川県綱引き連盟、各学区体育振興会、80周年イベント実行委員会が協賛として、日本綱引き連盟の大会規定に準じて、行われた。

成 績 表

ブロック	優 勝	準優勝	3 位
A	大 矢 部	陽 光	粟 田
B	高 坂	田 浦	追 浜
C	富 士 見	根 岸	望 洋
D	鷹 取	久 里 浜	城 北



学区対抗児童ポ-トボール大会

昭和47年度の本市体育指導委員協議会の行事反省の中で、夏季休業期間中に児童ソフトボール大会を行っているが、女子の種目がないということで、どんな種目を児童女子のために選んだらよいかと云うことで、数回にわたり、常任委員会で、検討された結果、昭和48年8月19日に、学区対抗児童ポ-トボール大会が行われた。

横須賀市体育指導委員協議会主催、横須賀市教育委員会後援、横須賀市小学校体育研究会協賛のもとに27学区が参加し、ブロック別トーナメントで、児童ソフトボール大会とあわせて開会式が行われ、優勝学区は、田戸、夏島、久里浜、明浜であった。この時に横須賀ライオンズクラブから、優勝カップが寄贈された。昭和49年度から市主催となり、第1回学区対抗児童ポ-トボール大会と称した。

なお、昭和51年度から横須賀市小学校体育研究会にかわり、横須賀バスケットボール協会が協賛となった。

学区対抗児童ポ-トボール大会成績一覧

年度	回数	内容	優勝学区
49	第1回大会	ブロックトーナメント 30学区参加	武山、諷訪、公郷、森崎
50	第2回大会	ブロックトーナメント 36学区参加	武山、明浜、浦郷、久里浜
51	第3回大会	ブロックトーナメント 37学区参加	岩戸、光洋、夏島、久里浜
52	第4回大会	ブロックトーナメント 41学区参加	坂本、浦郷、久里浜、岩戸、粟田
53	第5回大会	ブロックトーナメント 41学区参加	久里浜、船越、粟田、追浜、光洋
54	第6回大会	ブロックトーナメント 44学区参加	浦郷、追浜、粟田、岩戸、明浜、高坂
55	第7回大会	ブロックトーナメント 46学区参加	岩戸、北下浦、光洋、明浜、鴨居、鷹取
56	第8回大会	ブロックトーナメント 45学区参加	大楠、望洋、逸見、久里浜、追浜、明浜
57	第9回大会	ブロックトーナメント 46学区参加	大津、鷹取、粟田、岩戸、神明、鴨居

58	第10回大会	ブロックトーナメント 46学区参加	神明、野比、小原台、衣笠、岩戸、浦郷
59	第11回大会	ブロックトーナメント 47学区参加	高坂、岩戸、粟田、大楠、神明、久里浜
60	第12回大会	ブロックトーナメント 45学区参加	追浜、大津、公郷、浦賀、浦郷、逸見
61	第13回大会	ブロックトーナメント 45学区参加	浦郷、岩戸、久里浜、粟田、野比、大矢部
62	第14回大会	ブロックトーナメント 48学区参加	望洋、森崎、大津、神明、粟田、明浜

学区対抗児童ソフトボール大会

昭和34年、児童、生徒のために夏季休業期間中に第1回大会が開催された。

当時、横須賀市教育委員会が主催し、市体育指導委員協議会が主管し、横須賀ソフトボール協会が協賛のもとで行なわれ、健全な青少年育成の目的を持ち、明日への希望を持たせるよう努力を続けている。

第1回大会（昭和34年）の名称は学区対抗少年球技大会でソフトボールが29チーム、卓球が7チーム、バドミントン7チームの参加を得て盛大に行われた。

昭和35年は行わず昭和36年に初めて学区対抗児童ソフトボール大会として今日まで続けられている。又、初めのころは1学区1チームではなかった。

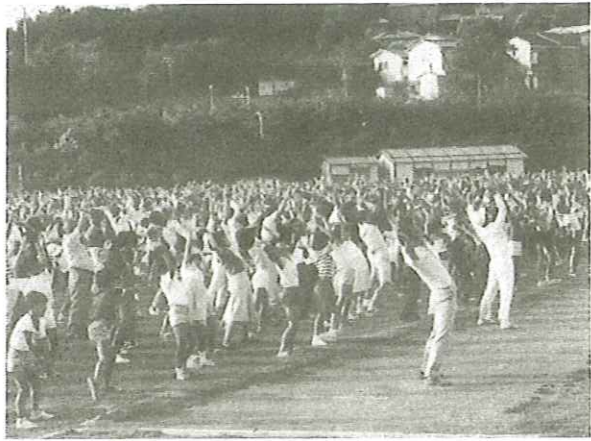
昭和36年度からの結果は下記のとおりである。

年度	参加学区数	優 勝 学 区
36	31	北下浦、鴨居、田浦、明浜B
37	24	鴨居、馬堀、船越
38	27	逸見、公郷、鴨居
39	27	馬堀、夏島、久里浜、北下浦
40	30	公郷、夏島、久里浜、衣笠
41	30	逸見、馬堀、鴨居、船越、衣笠
42	31	山崎、城北、逸見、公郷、夏島
43	31	追浜、城北、明浜、田浦、浦郷
44	30	田浦、公郷、夏島、久里浜
45	33	明浜、浦郷、夏島、船越、北下浦
46	32	坂本、城北、夏島、汐入、鶴久保
47	33	明浜、浦郷、大楠、田戸、鶴久保
48	34	逸見、大津、夏島、平作、長井
49	35	明浜、坂本、青葉、平作、久里浜
50	38	明浜、池上、浦郷、平作、浦賀
51	42	明浜、森崎、岩戸、平作、青葉、北下浦
52	43	逸見、森崎、城北、平作、青葉、陽光
53	43	富士見、浦賀、坂本、高坂、岩戸、森崎
54	40	高坂、馬堀、坂本、森崎、久里浜、陽光
55	46	明浜、根岸、森崎、岩戸、鶴久保、北下浦
56	44	平作、森崎、北下浦、城北、坂本、岩戸
57	48	森崎、大楠、豊島、陽光、岩戸、青葉、望洋
58	45	明浜、衣笠、大津、望洋、大楠、森崎
59	43	城北、大楠、豊島、岩戸、坂本、平作

60	44	豊島、大楠、城北、大矢部、岩戸、陽光
61	44	森崎、小原台、粟田、公郷、城北、坂本
62	48	豊島、高坂、岩戸、北下浦、明浜、野比

ラジオ体操の会

ラジオ体操制定のきっかけは、天皇御即位の御大礼記念式典において、天皇が「国民の皆さんに健康を」と言われたのがきっかけになり、国民の健康を保持増進する目的のもとに、簡易保険局が制定し日本放送協会と協定して「国民保健体操」の名称で実施したものであるが、ラジオを通じて全国への普及が続けられたため、今日では、ラジオ体操の名称で親しまれるようになった。「全国のみなさん、おはようござ



います」という第一声から始まって、日本中の人々に親しまれた江木アナウンサーの指導するラジオ体操は、昭和3年11月1日から開始されたものである。

ラジオ体操といえただれでもNHKだけのものと想像しがちであるが、これを制定したのは、簡易保険局であり、この体操はだれでもできることが特徴であるが、年令差、体力差等から、この体操だけではものたりないとする声もあって、昭和7年に第2体操を、さらに昭和15年には厚生省制定の「青年体操」を青少年の体位向上をはかる目的で更に高度なものとし、これを第3体操としてとり入れ、その普及がなされてきた。終戦とともに、ラジオ体操が軍国主義的であるとの理由から、連合軍司令部から中止の命令が出され、そのような意図はないと説明したが受け入れられず、やむなく昭和21年2月で放送が中止された。

日本放送協会では、同年4月から、これに代るものとして音楽を主とした舞踊体操を作成して放送を開始したが、一般の盛りあがりが見られず、翌22年8月一杯で放送を中止した。

その後「ラジオ体操」再開の声がだんだん強くなり、世論もこれを支持するようになったので、簡易保険局では創業35年を記念して「国民保健体操」を再開することとし、文部省後援のもとに日本放送協会と制定会議を持ち、専門家の研究討論を得て、簡易保険局と日本放送協会で共同発表し昭和26年5月6日から放送を開始した。

これが現在のラジオ体操第1であるが、やはりこの体操一つでは不十分なので、翌27年6月、第1体操より高度な第2体操を作り、放送し現在に至っている。又、放送は、故紅林武男とともに担当をつづけて、現在も活躍されている柳川英磨は、特に神奈川県とは強いつながりを持つ方であり、神奈川県でのラジオ体操の普及に大であった。

本市においても昭和3年11月に天皇御即位の御大礼記念式典において、全国放送があった後において学校単位で行われた。

昔は今のよう、夏休み1週間又は2週間だけ行うというものでなく、夏休み期間中毎日行ない、学校から賞状や賞品が与えられた。戦後、市民の生活も年々日本経済の発展とともに充実してきた昭和48年ごろ、日本中において、体育活動、体力づくりに関心を持ち、自分の健康は自分

で管理する意欲を持つようになった。その一つの表われとして、ラジオ体操には児童ばかりでなく、老人、幼児、家族で参加するのが数多く見られるようになった。昭和48年までは学校にラジオ体操のカードを配布していたが、「学校に配布すると生徒だけしかカードがわたらないので、老人、幼児にもカードを配布してほしい」という地域住民の声があり、学区体育振興会に依頼して、体育指導委員を通じて、ラジオ体操のカード及び精勤賞状を配布している。昭和52年度には本市全域に65,000枚配布している。

市内では、子供会、町内会、体育振興会等の団体が、市内各所で夏休みになると、ラジオ体操の会を開催し、参加者に対しえんぴつ、ノート等の賞品を与えているのが現在の状況である。さらに、各種大会、運動会、レクリエーション活動を行なう前の準備体操として、又、整理体操として、ラジオ体操が取り入れられている。これは本市だけではなく、全国的現象となっている。

本市の場合、昭和52年の夏休みには、約6人に対し1人の割合いでラジオ体操を行っていることになるが、現在では約5人に対し1人の割合いで行っている。

※昭和56年8月16日、本市不入斗運動公園陸上競技場で約4,000名の参加を得て、全国放送された。

ママさんバレーボール大会

昭和38年、家庭婦人の体力づくりを目的に横須賀市体育指導委員連絡協議会と、市教育委員会が市内を巡回し地域のママさんにバレーボールの育成及び指導を行なった。その年第1回大会が開催されたが、内容は、5チームが集まり交歓会的に行なわれた。当時は6人制で、ネットの高さも2m30で現在とは多少異なっていた。翌年東京オリンピックが開催され、東洋の魔女がみごと、オリンピックに輝やかなしい優勝の栄冠を獲得。これが全国の家庭婦人に強い刺激を与える結果となり、年々チーム数もふえ大会も盛大になって来た。昭和44年まで市体育指導委員協議会が主催していたが、昭和45年度より市教育委員会が主催し協議会主管で行なってきたが、ママさんバレーボールの組織も充実し、自主運営ができるようになり、昭和59年度の第22回大会まで行った。記録は下記のとおりである。



年度	優勝チーム	チーム数	参加者
45	逸見同好会、大津チーム、YSチーム、夏島チーム	33	約330名
46	森崎チーム、二葉チーム、鶴久保チーム、坂本チーム YSチーム、船越チーム	31	約310名
47	二葉Aチーム、逸見同好会、汐入チーム、公郷チーム 大津チーム、浦郷チーム、武山Aチーム、沢山同好会	38	約380名
48	久里浜PTA、公郷チーム、夏島チーム、鶴久保チーム 二葉チーム、田戸チーム、坂本Aチーム	42	約420名
49	二葉チーム、池上チーム、久里浜チーム、田浦チーム 大津PTA、夏島チーム、駒寄チーム	43	約430名
50	二葉チーム、沢山同好会、津久井チーム、柳町チーム 梅田チーム、粟田チーム、KVC	43	約430名
51	(雨天の為中止)		
52	池上チーム、ハイランドチーム、公郷チーム、南郷チーム 津久井チーム、平一チーム、浦郷チーム	49	約490名

53	久里浜バレーボールクラブ、田戸Y S C、久里浜チーム 汐見台チーム、二葉Aチーム、浦郷Aチーム	68	約 680名
54	津久井チーム、二葉Aチーム、久里浜チーム、夏島チーム パンジーチーム、不入斗クラブ、岩戸Aチーム、大津チーム	64	約 640名
55	武山クラブA、池上チーム、津久井チーム、久里浜チーム 津久井小P T A、二葉Aチーム、K V C A、不入斗クラブ 馬堀チーム	54	約 540名
56	逸見同好会、岩戸チーム、池上チーム、港南台チーム ハイランドチーム、武山クラブ、浦郷チーム	51	約 510名
57	大矢部クラブ、しんめいクラブ、武山クラブ、田戸Y S 久比里クラブ、池上チーム、逸見同好会、第2平作チーム	44	約 440名
58	排好クラブ、高坂チーム、二葉Bチーム、大矢部チーム 港南台チーム、久里浜チーム	50	約 500名
59	港南台チーム、久里浜チーム、二葉Aチーム、馬堀チーム 高坂チーム、大矢部チーム	55	約 550名

ファミリースポーツのつどい

昭和58年度まで健康まつりとして行ってきた事業を改めて、昭和59年度5月にファミリーバレーボール、ファミリーゲートボール、ファミリー卓球、壮年体力テストの4種目を行った行事である。

内容も小人から老人まで幅広い参加でスポーツを楽しむ目的で行われている。

年 度	種 目	チ ャ ム 数
59	ファミリーバレーボール ファミリーゲートボール ファミリー卓球 壮年体力テスト	バレーボール27チーム ゲートボール22チーム 卓球31チーム 壮年体力テスト51名
60	同 上	バレーボール24チーム ゲートボール18チーム 卓球20チーム 壮年体力テスト68名
61	同 上	バレーボール16チーム ゲートボール12チーム 卓球18チーム 壮年体力テスト58名
62	同 上	バレーボール19チーム ゲートボール10チーム 卓球18チーム 壮年体力テスト20名

